

# サステナビリティ x イノベーション視察 in スウェーデン



## 目的

- ・ サステナビリティについて理解を深め、企業の役割、新たな事業の可能性について示唆を得る
- ・ サステナビリティを切り口としたイノベーションの潮流、具体事例について知り、イノベーションを後押しする要素や次なる事業のヒントを得る

訪問地 スウェーデン・マルメ（第3の都市）、  
ルンド(大学の街)

実施期間 2025年11月16日（日）～11月21日（金）



## Malmö マルメ市

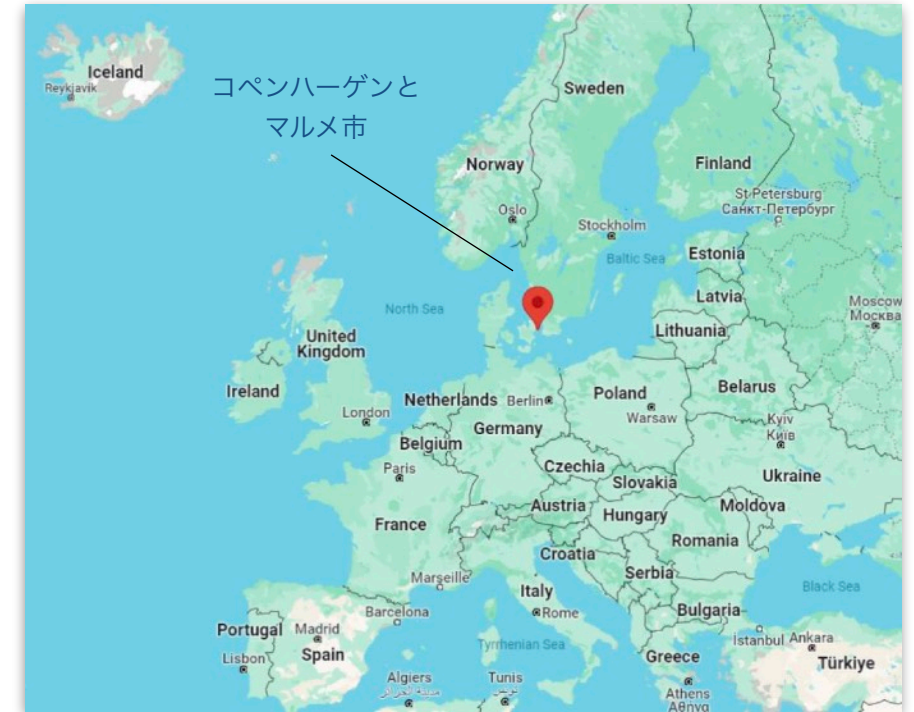
マルメ市は、欧州初のカーボンニュートラル地区、スウェーデン初のフェアトレードタウンなどサステナビリティの先進的な取り組みが進むスウェーデン第3の都市です。

世界でも最も早く自治体としてスタートアップ支援を手掛けた都市の一つとしても有名で、隣街にあるルンド大学では、長年イノベーション創出のシステム構築や協働促進などを行うなど、新しい事業が生まれ、成長するエコシステムが整っていることでも注目されています。

デンマークの首都コペンハーゲンから電車でわずか30 分の位置にあり、現在このエリアは、EUのサステナビリティハブとして様々な取り組みが進められています。

スウェーデンでは、気候変動に影響するCO2を100%削減することを国全体で目指しており、1990年（京都議定書の基準年）比で38%減

（'23）を達成すると同時に、国の経済(GDP)は成長を続けています（コロナ期除く）。マルメ市では、一人当たりのCO2排出量を年間2.5トン（日本は約8トン）まで削減しています。



\* <https://www.intracen.org/news-and-events/news/malmo-fairtrade-city-of-the-world>



# Program 視察プログラム

日にち	時間	内容
11/16 日	午後	<p>デンマーク・コペンハーゲン空港集合 グリーンエネルギーの電車で、スウェーデン・マルメ市内へ</p> <p>◆ <b>Lecture: サステナビリティ &amp; イノベーション【講演】</b>            サステナビリティおよびイノベーションマネジメントの基礎情報、スウェーデンにおけるイノベーションとサステナビリティの歴史、潮流、ヴィジョン、企業の先進事例などについて紹介。</p>
11/17 月	午前	<p>◆<b>Circular-City WALK サーキュラー・ウォーク</b>            国の政策や国際自治体ネットワークICLEIの「循環型都市のための行動枠組み（Circular City Actions Framework）」などに基づき様々な取り組みを行うマルメ市の中心を回り、取り組みとそれらを後押しするイノベーションについて見学。</p>
	午後	<p>◆<b>IKEA (Ingka Group retail) イケア</b>            新たな価値創造のイノベーションにおいて多数の実績を持ち、業界をリードするイケアの取組事例について担当者の話を伺う。</p>
11/18 火	午前	<p>◆<b>Västra hamnen ウェスタンハーバー</b>            欧州初カーボンニュートラル地区の訪問。衰退に向かっていた街をサステナビリティのテーマで再開発し、新たな価値を生み出したウェスタン・ハーバー。人々の交流を生むコミュニティづくり、地産地消の風力・ソーラー・バイオガス、サーキュラー（資源循環）の仕組み、都市における生物多様性の保護など、先進的な取り組みを紹介。</p>
	午後	<p><b>Circular building 資源循環型ビル</b>            世界でも珍しいリサイクル建材(石、窓枠、レンガ、ペットボトルなど)で作られたサーキュラービルの見学。本ビルを手がけた建設会社の担当者に話を伺う。</p>

# Program 視察プログラム

日にち	時間	内容
11/19 水	午前	<p>◆ <b>Lund Innovation eco-system &amp; Sustainability</b> ルンド大学</p> <p>40年に渡りイノベーション創出支援と企業や自治体などステークホルダーとの協働モデルの構築を行ってきたルンド大学でその取り組みと実績、今後のビジョンなどについて話を伺う。</p>
	午後	<p>◆ <b>Tetra Pak</b> テトラパック</p> <p>長い伝統を守りつつ、徹底したイノベーション思考で新たなソリューションを産み続けるテトラパックのイノベーションマネジメントについて話を伺う。サステナビリティとイノベーションを会社の戦略と事業運営に完全に統合することに成功している先進企業の一社。</p>
11/20 木	午前	<p>◆ <b>MINC Japan Business &amp; Innovation Hub</b> 日本ビジネス&amp;イノベーションハブ</p> <p>マルメ市が運営するスタートアップ支援施設・MINCを訪問。ルンド大学などの研究機関や投資家との連携、ここで誕生した企業の経営者によるサポートなどを充実させ、スケールアップや海外展開を後押しするMINCモデルは世界から注目を集めている。'24年にはJapan Business &amp; Innovation Hubが発足し、日本企業の誘致にも注力している。</p>
	午後	<p>◆ <b>Workshop</b> ワークショップ</p> <p>1週間のプログラムの振り返りとInnovation x Sustainability を加速させるためのアイデア出しを行うワークショップ。日本でのアクションについて構想する。</p>
11/21 金	午前	<p>ホテルチェックアウト後、空港へ移動 日本へ</p>

本プログラムは、イノベーション分野で長年の活動実績を持つaiRikr Innovation社と、スウェーデン視察ツアーで20年以上の経験と幅広いネットワークを持つ株式会社ワンプラネット・カフェが企画、ご案内します。

ワンプラネット・カフェでは、これまで計700人以上の日本の方々にスウェーデンやザンビアでのサステナビリティをご案内してきました。サステナビリティが、快適で、豊かな暮らしと新たな事業機会を生み出している社会をご体験ください。

## ヨハン・グルンドストローム・エリクソン Johan Grundström Eriksson

### 株式会社 aiRikr Innovation 創設者 / マネージング ディレクター

イノベーションと標準化の専門家。2014 年から ISO/TC279 イノベーション管理の技術委員会のメンバーを務める。2008 年から2020 年までルンドのソニーに勤務し、責任者としてイノベーション戦略を牽引。現在は、日本企業を含む大手企業のコンサルティングを多数手がけている。



## ペオ・エクベリ Peo Ekberg

### 株式会社ワンプラネット・カフェ 共同創設者 / サステナビリティ・プロデューサー

#### スウェーデン・マルメ市出身

スウェーデンのサステナビリティに関する知見とネットワークに加え、環境ジャーナリスト時代に培った日本、マレーシア、イタリア、イスラエル、パレスチナなど70ヶ国以上での経験を活かし、グローバルとローカルの視点でサステナビリティを推進。25年以上、サステナビリティ視察プログラムを企画・運営。数多くの日本の中小企業や大企業、自治体、大学、市民団体などにむけた実績を持つ。サステナビリティに関する本10冊を執筆、共著。



## エクベリ 聡子 Satoko Ekberg

### 株式会社ワンプラネット・カフェ 代表取締役

日本企業のサステナブル経営・事業開発支援、人財育成支援の分野に20年以上従事。300社以上のコンサルティング実績と、1000人以上のグローバルなサステナビリティ有識者、企業経営者、従事者、スタートアップなどとの対話と協働経験に基づく実践的なアドバイスと事業の推進を支援。視察では、日本でのアクションを後押しするためのプログラム設計と橋渡しに注力する。





## Lecture サステナビリティ & イノベーション 【講演】

サステナビリティおよびイノベーション・マネジメントの基礎情報、スウェーデンにおけるイノベーションとサステナビリティの歴史、潮流、ヴィジョン、企業の先進事例などについての講演を行います。

廃棄物やCO2の排出を減らし、再生可能エネルギーを増やすと同時に、継続した経済成長を実現しているスウェーデンの政策、社会づくり、サーキュラーエコノミー、人々のライフスタイルなどについてご紹介します。



### Webサイト・参考情報

株式会社ワンプラネット・カフェ Webサイト <https://oneplanetcafe.com/>

## Sustainable Cityサステナブル再開発地区 ウェスタン・ハーバー

欧州初のカーボンニュートラル地区の訪問。

造船で栄えた後、衰退に向かっていった街を市民との対話や、建設業界、NGOとの協働を通じて、サステナビリティのテーマで再開発し、新たな価値を生み出したウェスタン・ハーバーを見学します。

快適さ、心の豊かさ、心地よさを重視した、ソフトシティのコンセプトによる建設・コミュニティづくり、地産地消の風力・ソーラー・バイオガス、サーキュラー（資源循環）の仕組み、コミュニティガーデン、都市における生物多様性の保護などの取り組みを紹介します。



### Webサイト・参考情報（英語）

<https://visitsweden.com/where-to-go/southern-sweden/malmo/vastra-hamnen-malmo/>



## Innovation Leaders イノベーション創出のリーダー企業・組織訪問



### IKEA (Ingka Group retail) イケア

革新性と持続可能性で業界を牽引するイケア社。現在32か国で392の店舗と73のショッパ・プランニングスタジオを展開し、550基以上の風力発電機や、25万ヘクタールの責任ある管理森林への投資など、持続可能な未来に向けた事業を推進。IKEAのイノベーションアプローチを活用した再生プロジェクト「八潮団地」の事例を通じ、「多くの人々により良い毎日を届ける」というビジョンと、「より良いIKEAをつくる」ための挑戦を紹介。



### Tetra Pak テトラパック

食の安全と持続可能性へのコミットメントを明確に打ち出し、伝統を守る一方で、新たなイノベーションに取り組み続けるテトラパック社。現在、160以上の国と地域でサービス、包装、加工の販売を展開し、52の生産拠点、6つのカスタマー・イノベーションセンター、R&Dセンターを運営。持続不可能な現状の食料システムに変革をもたらすために、イノベーション管理を企業戦略と事業運営に完全統合し、食品安全性、コスト、持続可能性要件、新しい製品・カテゴリー・販売チャネルへの市場期待といった多様な課題に対応している。



### Lund Innovation eco-system & Sustainability ルンド大学

歴史と最先端が交差する知の拠点ルンド市は、350年以上の歴史を持つ国際的な知識ハブ。ここで2G通信が誕生し、5G・6Gへ進化し、ディープテックやビッグサイエンスのインフラへと発展。1983年に設立されたIdeonサイエンスパークをはじめ、インキュベーターやサイエンスパークが集積する。イノベーション地区には、Living LabやMAX IV研究施設、欧州スパレーション源（ESS）などがあり、ルンド市とヨーロッパ有数の総合大学、サイエンスパーク、産業界、社会が連携し、持続可能な未来の実現を目指す。今回の訪問では、ルンド大学のイノベーション&ベンチャリング部門や、社会横断型・オープンイノベーションに取り組む学部代表者との交流を予定。



### MINC ミンク

マルメ市が運営するスタートアップ支援拠点「MINC」は、Financial TimesとStatistaにより「欧州トップ100スタートアップハブ」の一つに選出。ここに入居する多くのスタートアップは、持続可能性を事業の基盤、さらにはビジネスモデル全体の核としている。

2024年には、日本企業の誘致に特化した「ジャパン・ビジネス&イノベーション・ハブ」を開設。

## Food 食事もサステナブル

本視察プログラムでは、食事や移動においてもサステナビリティを体験していただけます。

ランチのおすすめは、スウェーデンの伝統的なフードコート「Saluhallen」での環境ラベルのシーフード料理や、サステナブルなハンバーガーチェーン・Maxバーガーズ。

Maxバーガーズは、クライメートポジティブを達成し、世界一サステナブルなハンバーガーチェーンとも言われています。各商品のCO2排出量を表示したメニューや、植物性ミートを中心としたグリーンメニューなど先進的な取り組みで、若い世代からビジネスパーソン、大人まで幅広く人気を集めています。



### Webサイト・参考情報（英語）

Maxバーガーズ（サステナビリティ取り組み）：<https://www.maxburgers.com/responsibility/sustainability2/>

Holy Greens: <https://holygreens.se>

Saluhallen 伝統的なフードコート: <https://www.malmosaluhall.se/handlarkategori/fisk-sv/>



## Transportation & Hotel 移動も、宿泊もサステナブル

公共のバスや電車、およびタクシーは、風力やソーラー、バイオガスなど再生可能エネルギーで走っています。

写真：再生可能エネルギーで走るEVバス

マルメは、脱炭素社会づくり、サステナブルな都市への移行の取り組みが評価され、EUの「ミッション・ラベル賞」を受賞しています。

宿泊施設は、世界初の環境ラベル認定のホテルチェーン・スカンディック・ホテル（Scandic Hotel）を利用します。

サステナビリティの徹底した取り組みを推進する、北欧デザインで居心地のよいホテルです。

スカンディック・ホテルは、ボルボ自動車やイケア（IKEA）と並び、サステナビリティ分野におけるスウェーデンのトップブランドの1つです。



### Webサイト・参考情報（英語）

スカンディック・ホテル； <https://www.scandichotelsgroup.com/sustainability/>



## ■ お申し込みについて

**STEP 1.** 以下リンクもしくはQRコードにアクセスし、申込書・参加同意書フォームをご提出ください。

締め切りは **2025年10月6日(月)** です。紙フォームをご希望の方はお問い合わせください。

※締切日当日までは料金は一切かかりません。

お申し込みフォーム：<https://ws.formzu.net/dist/S99981447/>

**STEP 2.** 10名様以上のお申し込みでプログラムを実施します。実施決定後に、ご請求書をお送りします。

**STEP 3.** スウェーデンや旅についての具体的な情報、ホテルの連絡先、パンフレットなどをお送りします。

**STEP 4.** 出発前に事前説明会を行います。Zoom会議（オンライン）にて実施予定。

お申し込みフォームQRコード



## ■ 旅行条件

本プログラムは、スウェーデン現地開催の視察プログラムです（現地集合・解散）。

スウェーデン国内の宿泊手配は、株式会社ジャパングレーライン（観光庁長官登録旅行業第35号・1種）が行います。ジャパングレーラインでは、ご希望に応じて海外航空券、海外旅行保険の手配も承ります。

**期間** 2025年11月16日（日）～11月21日（金）5泊6日 現地集合・解散

**訪問地** スウェーデン・マルメ（第3の都市）、ルンド

**宿泊施設** スカンディックホテル予定 北欧スタイルで、環境方針を持つホテル（3つ星）以上

**食事** 朝食5回、昼食0回、夕食0回（機内食は除く）

**言語** 英語と日本語通訳あり

**参加費** お一人様 482,000円 ＊ツイン部屋ご利用の場合

＊日本発着の航空券費用は含まれておりません。別途株式会社ジャパングレーラインまでお問合せ下さい。

＊シングル部屋利用追加料金：70,000円

申込締切 2025年10月6日(月)

参加費に含まれるもの

視察料金（各施設の案内等）、講師・通訳（日本語）・ガイド、宿泊5泊（ツイン部屋利用、朝食付）、スウェーデン国内移動費用（見学先・空港からホテルへの公共交通機関での移動費用）、資料

参加費に含まれないもの

日本～スウェーデンの往復航空券、海外旅行保険、昼食・夕食、自宅～日本国内空港への移動費（往復）、シングル部屋ご利用場合の追加料金70,000円、出入国における適用措置にかかる費用



株式会社ワンプラネット・カフェ

本社 〒105-6923 東京都港区虎ノ門4丁目1-1 東京ワールドゲート 23F  
スウェーデンオフィス Lilla Varvsgatan 24 lgh 409, 211 75 Malmö Sweden  
[hello@oneplanetcafe.com](mailto:hello@oneplanetcafe.com) 03-5776-6228 [www.oneplanetcafe.com](http://www.oneplanetcafe.com)